

あかるいまち 21

No.1501 2022年4月 12日
組合員活動推進課 082-532-1264

	4月	2022年度
組合員ふやし	34人	34人
出資金ふやし	446万円	446万円
純増	△316万円	△316万円

アルパーク「無印良品」で班会を！

きっかけは、地域包括支援センターから井口鈴が峰支部への連絡でした。

「今度新しくできる無印良品さんの店舗の中で、いきいき 100 歳体操をやりませんか？」始めは耳を疑いましたが、詳しいお話を担当の方からうかがうために、4月1日に懇談に行ってきました。担当の方から、地域の健康づくりに貢献したい、広島健康寿命を延ばしていく取り組みを行いたい、という強い思いをうかがい、生協が目指すまちづくりと非常に近いものがあると共感しました。

実際に使うことが出来るスペースも見せてもらい、広くてきれいなスペースや、大きなモニターが使用できるなど、活動を開催するには申し分ない環境だということを確認。準備期間は短いですが、4月26日の10時30分からいきいき 100 歳体操を開催しようという話が決まりました。

担当の方と話をする中で、「まちの保健室」というワードがよく聞かれました。「まちの保健室」と言えば地域ケア部にはあの人か…。ということで地域ケア部に戻ったところで色々相談し、急遽4月5日に地域包括ケア部と無印良品の担当者と懇談を持つことに決まりました。

懇談の場では改めて、無印良品側の地域への健康の取り組みに対する思いと、生協が今まで行ってきた活動が協力できることが確認でき、今後色々なところで協力出来るんじゃないか、という話で大きく盛り上がりました。

今はたくさんの活動を行ってほしい、という無印良品さん側の思いもあり、井口鈴が峰支部だけではなく、近隣の支部の方にも是非使用してください、とも言われていました。

生協の活動を多くの人に知ってもらい、地域に健康を広げていきたいですね。



組合員と医療系学生で小松菜収穫！

4月3日（日）、田方支部の小松菜収穫に医療系学生が参加しました。この医療系学生は田方支部もボランティアに参加されている広島民医連ランチ会に来ている学生です。今回はランチでも使用する小松菜を栽培する農家に行ってきました。安芸太田町に集合し、収穫後はビニールハウスの外で田方支部の方が作られたお昼ご飯をみんなで食べました。コロナ禍で地域組合員の健康状態を心配して行った訪問行動や、フレイル予防の活動、災害支援バザーなど支部活動の紹介もいただきました。学生からも「楽しかったです。また行きたいです」とご感想をいただきました。今後も組合員と医療系学生を繋いで、地域医療を盛り上げていきたいです。

